

平成29年度 輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動報告書

平成30年3月2日

農林水産省

食料産業局長 殿

全国農業協同組合連合会

輸出対策部

全農インタナショナル(株)

米穀・園芸部

平成29年度海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : タイ(バンコク)

実施期間 : 平成30年2月9日～2月28日

(フェアに係る出張 : 平成30年2月21日～2月23日)



「タイ全農青果物フェア」

1. 『タイ全農青果物フェア』について

(1) 期間 : 平成30年2月9日(金)～2月28日(水)

(2) 場所 : 1. UFM Fuji Super 1号店
2. UFM Fuji Super 2号店
3. UFM Fuji Super 4号店

(3) 出席者 : Daisho Tailand : Habano Assistant General Manager
全農 : 輸出対策部 遠藤
全農インターナショナル(株): 米穀・園芸部 美田

(4) 内容 : 今回は千葉県産の青果物を中心に販促フェアを企画した。輸入会社は千葉県産に対して信頼しており、その要望に応える形となった。
時期的に中国の旧正月期間中であるため、タイに住んでいる華僑たちの贈答用品も見込んでいた。
あいにく日本は寒冷気候の影響でこの時期、青果物の出荷量が逼迫しているため、価格も高騰していることから、期待どおりの出荷量とならなかった。
売り場で聞いた消費者の感想では日本の野菜は寒暖の差があるため甘味があっておいしい。特に生で食べるとき、タイ産との差が歴然としている。
現地プロモーターは来店者にその違いを分かっていたくために、日本産の野菜を一口用に切ってドレッシングをつけて試食を進めていた。

①出荷日程

出荷はフェア期間中、鮮度のよいものを提供するため、三回に分けたがすべて航空便とした。バンコク到着は以下のとおり。

2月2日、26箱
2月9日、26箱
2月22日、26箱

②出荷内容は別紙のどおり。

番号	商品名	産地	ケース 重量kg	数量
	(2月2日出荷)			
1	いちご(もういっこ)	宮城県	3.6	2
2	冷蔵富有柿	福岡県	5	2
3	いちご(チーバベリー)	千葉県	3.2	1
4	いちご(とちおとめ)	千葉県	3.2	1
5	梨(王秋)9玉	千葉県	5	2
6	さつまいも(紅はるか)Mサイズ	千葉県	5	5
7	人参Lサイズ	千葉県	10	5
8	大根Lサイズ	千葉県	10	5
9	キャベツLサイズ	千葉県	10	1
10	とまとMサイズ	千葉県	4	1
11	カブ2Lサイズ	千葉県	15	1
	(2月9日と22日出荷)			
1	いちご(もういっこ)	宮城県	3.6	8
2	冷蔵富有柿	福岡県	5	2
3	いちご(チーバベリー)	千葉県	3.2	1
4	いちご(とちおとめ)	千葉県	3.2	1
5	梨(王秋)9玉	千葉県	5	0
6	さつまいも(紅はるか)Mサイズ	千葉県	5	10
7	人参Lサイズ	千葉県	10	10
8	大根Lサイズ	千葉県	10	10
9	キャベツLサイズ	千葉県	10	2
10	とまとMサイズ	千葉県	4	4
11	カブ2Lサイズ	千葉県	15	4

JA全農 日本全国で収穫される、今が旬の味覚をぜひご賞味ください。

全農 果物&野菜プロモーション

2月9日(金) ▶ 2月28日(水) フジスーパー1号店・2号店・4号店

  富有柿 1個 129B	  とちおとめ 1パック 580B	  トマト 1kg 650B	  紅あずま 1kg 350B	  にんじん 1kg 200B	  だいこん 1kg 165B
--	--	---	--	---	--

※天候等の理由により価格の変更および入荷できない場合がございます。予めご了承ください。

●UFMフジスーパー1号店 (Sukhumvit Soi 33/1) ●UFMフジスーパー2号店 (Sukhumvit Soi 39) ●UFMフジスーパー4号店 (Sukhumvit Soi 49)

現地作成フェア告示広告

フジスーパー1号店



日青協・全農の販促資材を活用して売り場作りをおこなった。



全農および全農インタナショナルの職員と現地タイ語のプロモーターは試食販売を行った。

フジスーパー2号店



店舗の入り口近く販促売り場を設け、入店客の目につきやすいところである。



全農インターナショナルの職員および現地プロモーターの試食販売状況。



イチゴを近くの冷蔵コーナーで展示販売。
日青協の共通シールを活用。

フジスーパー4号店



店舗入り口に全農青果物コーナーを設けて販促。



全農および現地プロモーターによる試食販売。



輸入会社との打ち合わせ。
フェアの効果を生かして継続販売で
通年供給を目指す。
日本産米の販売に合わせ、できるだけ空いてい
るスペースを有効利用したい。よって青果物と
同梱の場合、米袋に結露しないような工夫を
物流会社とともに検討していく。

2. フジスーパーとの打ち合わせ内容

- 日本産フルーツについてかつて柿(特に鳥取県産)は人気あって毎年、一定の輸入量があったが、最近桃・ぶどうが増えて相対的に柿の販売量が減っている。また、韓国産の柿もタイに進出し始めているが、見た目は同じでも、風味は日本産に劣る。販促フェア時日本産と韓国産を食べ比べれば、より消費者に日本産の良さを分かってもらえる。
- いちごについて固くて酸っぱいものが平気な人はアメリカ産とタイ産で十分であるが、日本産の特徴は柔らかくて甘い。課題としては果皮が柔らかいため輸送上いかにして傷つけない工夫が必要である。
- タイにおいて日本産フルーツの人気順はリンゴ→ぶどう→梨→いちご
- メロンについて日本産は美味しいが高すぎる。タイで栽培している日本品種のメロンはそこそこの甘味があり、価格は日本産の半分以下。
- 昨年9月全農から出荷した岩手県産りんご紅ロマンは美味しいため、評判はよかった。
- 野菜類について味的にきゅうりとトマトはタイ産との差別化が図りにくい。しかし、大根と白菜、小松菜、ホウレンソウは甘味が違って一定の人气が保たれている。また、タイに春菊がないため、比較的安定販売ができています。
- 最近日本の天候要因で出荷する野菜量が限定され、価格も高騰しているため、フジスーパーとして困っている。しかし、全農との価格交渉は比較的早い段階で終了したため、割安の入荷ができて助かっている。(フジスーパー)

5. 今後の進め方

- ①フジスーパー側の要望としては同じ時期に日本産の特定な品目が販売することが消費者にとって一番わかりやすいため、販売拡大が期待できる。よって毎年、全農よりの販促イベントを企画してほしい。この要望を受け、農水省の補助金を活用しながら、日本産青果物の安定販売を図っていく。
- ②米結露解決方法を物流会社とともに検討し、青果物との混載により効率のよい輸送方法を探っていく。

以上